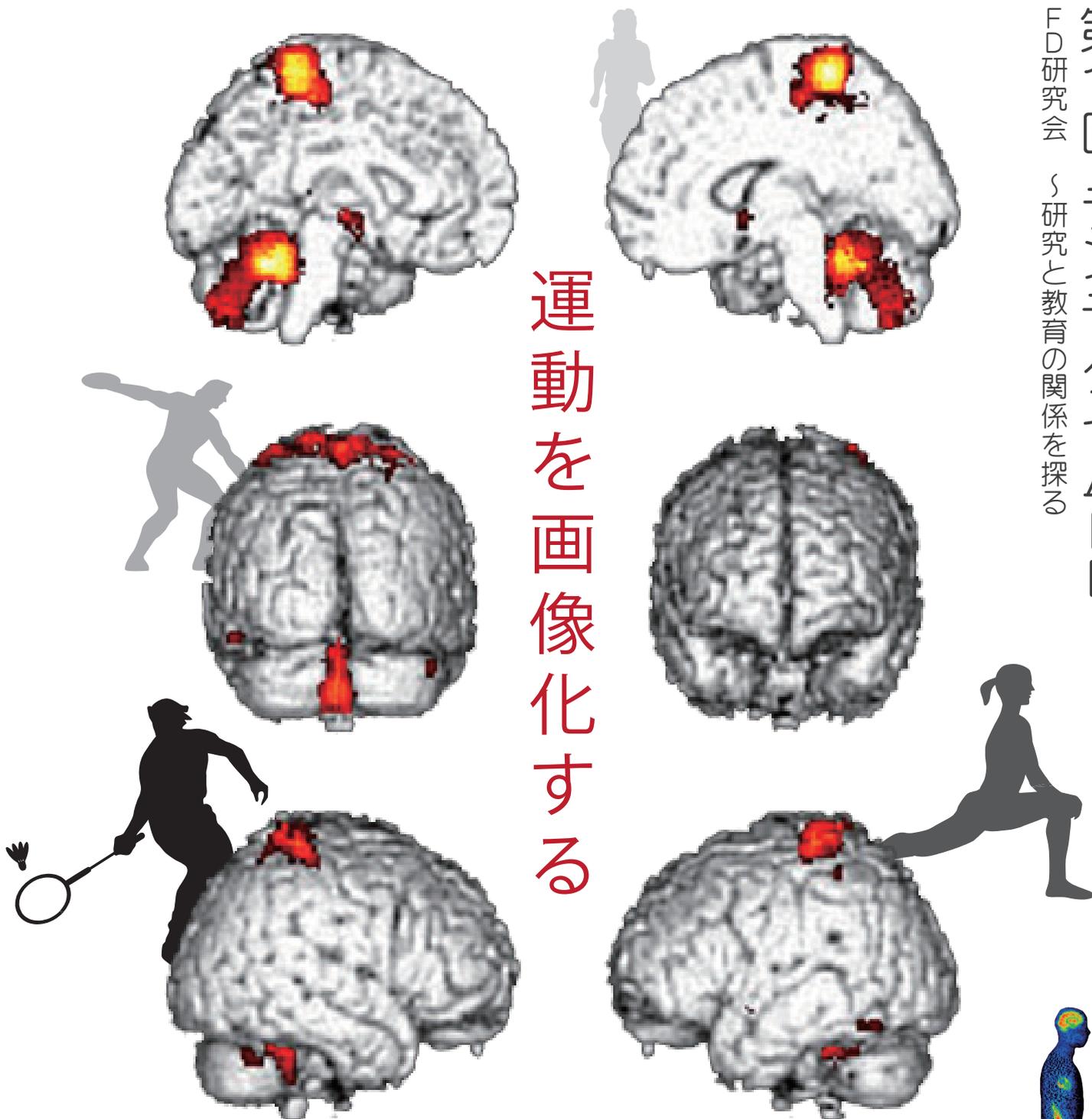


FD研究会
ランチタイムFD
研究と教育の関係を探る

運動を画像化する



申込み不要。当日参加歓迎。
お気軽にご参加ください。

2011.7.28 (木) 12:10 ~ 12:50 (40分間・発表25分、質疑応答15分ほど)

場所：川内北キャンパス講義棟 C305

発表：藤本 敏彦 准教授

高等教育開発推進センター 全学教育推進部 スポーツ科学教育室 専門：スポーツ科学・環境生理学

発表概要：近年、医療画像技術は非侵襲的に体の画像を得ることができるため、積極的にスポーツ科学へ導入されている。スポーツの世界では、これまで個々の運動に使われている筋肉の見極めは、経験が大きな決定要素であった。しかしスポーツ科学や、医工学分野では、客観的で再現性のある骨格筋活動の観察方法が必要となっている。東北大学ではポジトロン断層法(PET)を用いて、骨格筋の糖代謝率から筋活動を評価する方法が開発された。PETは全身の糖代謝を画像で示すことができるため、結果を理解しやすい長所を持っている。また、PETは脳機能の測定も可能であるため身体運動と脳機能の関係も明らかになりつつある。現在、いくつかの取り組みがあり、先行研究を含めスポーツ科学への応用の可能性を紹介する。



セミナーに関する問合せや発表の申込みはこちらまで：

高等教育開発推進センター人文社会科学 教授 芳賀 満 e-mail: mhaga@he.tohoku.ac.jp tel: 3371

高等教育開発推進センター事務局 鎌田 裕子 e-mail: y.kamada@he.tohoku.ac.jp tel: 7551

主催：東北大学高等教育開発推進センター 企画：人文社会科学教育室